

大阪市住宅供給公社 平成 23 年度第 1 回理事会

1. 開催日時 平成 23 年 7 月 14 日 (木) 午前 9 時 30 分～午前 11 時

2. 開催場所 住まい情報センター 5 階 入札室

3. 議 案

- (1) 議案第 1 号 平成 22 年度 大阪市住宅供給公社 業務報告について
- (2) 議案第 2 号 平成 22 年度 大阪市住宅供給公社 決算について

4. 出席者

理事長	岩	城	良	夫
専務理事	吉	村		敬
理事	難	波	里	美
理事	大	森	敏	江
理事	馬	場	昭	彦
監事	坪	田	聡	司
監事	川	西	絵	理

5. 議事要旨

- (1) 第 1 号議案及び第 2 号議案の概要についての説明
- (2) 監事代表からの決算監査報告
- (3) 議案の審議結果 可決

なお、理事からの意見、質問等 (○印) 及び回答 (●印) は、次のとおり。

- 駐車場事業収益には、時間貸しコインパーキングの収益も入っているのか。また、今後増設する予定はあるのか。比率を上げていってもらいたいと思っている。
- 駐車場事業収益に計上している。資産の有効活用を図るためにも増設してまいりたい。また、近隣の不法駐車対策になると考えている。
- 駐車場使用料はいくらで、地域の実態にあわせて格差をつけていないのか。
- 一律 12,600 円としている。
- 3 月 11 日の震災以降に耐震改修等の申請件数が増えていると聞いているが、前年を上回るようなことになっているのか。
- 増えている。昨年 4 月との比較であるが、申請件数・電話問い合わせともに倍増している。
- 震災被災者対応の問題点や得られた成果等はあるのか。たとえば、500 戸の提供の内 122 件の入居となっているが、その差はどうしてなのか。
- 応募はかなりあるが、結果的に取りやめる方が多いようである。
- 応募があるのに入居をやめるというのは、住宅側や大阪市のシステムに何か問題があるのではないか。

- 分析はできていないが、悪い住宅を出しているわけではない。他の自治体も提供しているので選択肢が多く、その中から選択をされた結果と考えている。
- 選択の理由は把握しておいてほしい。受け入れる体制ができているのであれば、実質的に効果があるようにしていくためには、どのようにすればいいのか考えることが必要であると思う。
- 市営すまいりんぐ子育て応援型は一般住宅とどう違うのか。
- 浴槽や3か所給湯などの設備水準をあげて提供している。小児科やスーパー等の情報もあわせて提供している。
- 子育て層が増えることは望ましいことだと思うので、頑張してほしい。
- 会計がいくつかに分かれているので総括的に見て、平成21年度と比べて収支は改善されているのか。
- 一般会計の収支により公社全体の収支が決まってくる。91億の売上に対して4400万円の黒字は出ているが、引き続き経営改善に向け努力したい。
- 保有地の活用について、年度内の買収が可能なのか。
- 本年2月から交渉を再開し、買収の同意を得ることができた。移転先の問題もあるが、年内を目途に円滑な立ち退きに向け交渉、契約を進めたい。
- 跡地の利用方法は決めているのか。
- 民間の定期借地事業を検討したい。
- 非常勤嘱託員の勤務評定の実施にあたっては、勤務意欲を向上させるように慎重に行ってほしい。
- 事業報告書の記載にあたっては、数値に表れないような仕事の成果もプラスアピールをしてもいいと思う。